

第274回教育研究評議会議事要録

1. 日 時 平成29年1月10日（火） 13:30～15:25
2. 場 所 事務局 大会議室
3. 出席者 中井学長、中田理事・副学長、三浦理事・副学長、小沢理事・副学長、
若井理事・事務局長、真田副学長、千葉副学長
千葉人間発達文化学類長、朝賀評議員、谷評議員
久我行政政策学類長、田村評議員、鈴木評議員
阿部経済経営学類長、伊藤評議員、佐野評議員
二見共生システム理工学類長、佐藤評議員
難波環境放射能研究所長
【オブザーバー】青柳農学系教育研究組織設置準備室室長
上井監事、橋本監事
4. 欠席者 山口評議員、初澤うつくしまふくしま未来支援センター長

5. 議事

【確認事項】

- ・第273回教育研究評議会議事要録を原案のとおり確認した。

【審議事項】

(1) 中期計画の変更について

中井学長から、資料1に基づき、平成29年4月に人間発達文化研究科教育実践専攻（専門職学位課程）設置に伴う中期計画の変更について提案があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(2) 食農学類（仮称）創設に関する各学類からの教員・学生抛出数について

中田副学長から、資料2に基づき、食農学類（仮称）創設に関する各学類からの教員・学生抛出数について提案があり、併せて、若井理事・事務局長から、教員・学生抛出数に関わる本学の財政シミュレーション等について説明があった。

質疑応答の中で、①現代教養コース教員・学生数からの抛出の可能性、②共通教育の見直しにかかる今後の議論の進め方、③教員の抛出数提案に至る議論において判断材料となった論点、④外部資金獲得などを含めた財政見通しの不安定さ、⑤今後の特任教員や非常勤講師の採用に伴うルール再確認の必要性、⑥ポイント制の検討等に関する意見が出された。

三浦理事・副学長から、現代教養コースについては、現在、全学教育改革 WG や現代教養コース運営委員会で意見交換を進めていること、現代教養コースの見直しの検討のために、学生を対象とした志望動機や就職状況などを把握するためのアンケート調査を実施したこと等の説明があり、改組の可能性を含め検討を行っていきたいとの発言があった。また、中井学長から、「働きながら学ぶ」という現代教養コースの存在意義と現状を認識した上で見直すこともあり得るとの説明があった。

若井理事・事務局長から、財政シミュレーションで示した見通しを厳しいと感じられたと思うが、今後、経費の節減、外部資金のさらなる獲得、大学院定員未充足問題の解決などを図ることにより財政の安定化を検討したいこと、平成 29 年度予算編成については精査したうえで今後提案したいこと等の説明があった。

中田理事・副学長から、共通教育改革に伴う教員配置等に関しては、全学教育改革 WG と今後すり合わせが必要であること、また、特に新旧カリキュラムの重複期間及びそれ以降の人事管理の方法については、教育研究院における全学的管理体制の検討が必要であること、ポイント制度や特任教員さらに非常勤講師の人件費抑制の検討が必要であることについて説明があった。

また、教員の拠出数提案に至る組織見直し WG における議論等を踏まえた教員拠出数の算出方法に関する記述内容について意見が出された。

審議の結果、資料を一部修正することとした。また、本議題は、教員控室に資料掲示の上、各学類教員会議へ意見聴取し、第 275 回教育研究評議会（1 月 31 日開催予定）にて各学類から戻り報告をすることとした。

【報告事項】

(1) 平成 29 年度予算（案）の伝達等について

若井理事・事務局長から、資料 3 に基づき、来年度運営費交付金の伝達額概要について、文科省全体と併せ本学分の概要報告があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(2) その他

特になし